科目名	DTMⅢ			担当講師	安田貴広/作山　厚
講師実務経験	作曲家、アレンジャー、ヴォーカリスト、ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2　学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	23　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Cubaseの応用操作と楽曲のアレンジ方法を学びクオリティーの高い楽曲制作を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-1
2	4月21日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-2
3	4月25日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-3
4	4月28日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-4
5	5月9日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-5
6	5月12日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-6
7	5月16日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-7
8	6月9日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-8
9	6月13日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-9
10	6月16日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-10
11	6月20日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-11
12	6月23日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-12
13	6月27日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-13
14	6月30日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-14
15	7月4日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-15
16	7月7日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-16
17	7月11日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-17
18	7月14日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-18
19	7月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-19
20	7月25日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-20
21	7月28日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-21
22	8月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-22
23	8月22日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-23

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：C
テキスト	
注意事項	69時間中　24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択DTM			担当講師	安田貴広
講師実務経験	作曲家、アレンジャー、ヴォーカリスト、ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2　学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	22　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Cubaseの応用操作と楽曲のアレンジ方法を学びクオリティーの高い楽曲制作を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-1
2	4月21日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-2
3	4月24日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-3
4	4月28日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-4
5	5月8日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-5
6	5月12日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-6
7	5月15日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-7
8	6月9日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-8
9	6月12日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-9
10	6月16日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-10
11	6月19日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-11
12	6月23日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-12
13	6月26日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-13
14	6月30日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-14
15	7月7日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-15
16	7月10日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-16
17	7月14日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-17
18	7月17日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-18
19	7月24日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-19
20	7月28日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-20
21	8月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-21
22	8月21日	Cubaseを用いた楽曲制作と応用実践・作曲・編曲の応用制作-22

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	66時間中　23時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	アンサンブルⅢ（選択）			担当講師	曽山良一/中田有紀/ 永盛岳生
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2　学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	22　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上させる力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1 / オリジナル曲作成と伴奏編成
2	4月21日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2 / オリジナル曲作成と伴奏編成
3	4月24日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3 / オリジナル曲作成と伴奏編成
4	4月28日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4 / オリジナル曲作成と伴奏編成
5	5月8日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5 / オリジナル曲作成と伴奏編成
6	5月12日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6 / オリジナル曲作成と伴奏編成
7	5月15日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7 / オリジナル曲作成と伴奏編成
8	6月9日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン1 / オリジナル曲作成と伴奏編成
9	6月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン2 / オリジナル曲作成と伴奏編成
10	6月16日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン3 / オリジナル曲作成と伴奏編成
11	6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン4 / オリジナル曲作成と伴奏編成
12	6月23日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン5 / オリジナル曲作成と伴奏編成
13	6月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン6 / オリジナル曲作成と伴奏編成
14	6月30日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン7 / オリジナル曲作成と伴奏編成
15	7月7日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン8 / オリジナル曲作成と伴奏編成
16	7月10日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン9 / オリジナル曲作成と伴奏編成
17	7月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン10 / オリジナル曲作成と伴奏編成
18	7月17日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン11 / オリジナル曲作成と伴奏編成
19	7月24日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン12 / オリジナル曲作成と伴奏編成
20	7月28日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン13 / オリジナル曲作成と伴奏編成
21	8月18日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン14 / オリジナル曲作成と伴奏編成
22	8月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン15 / オリジナル曲作成と伴奏編成

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	66時間中 23時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	サウンドクリエイター概論Ⅰ			担当講師	小島　快之
講師実務経験	アーティスト				
対象学年	2　学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	11　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
前期	サウンドクリエイターとして活動していくための幅広い知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	ギター基礎・知識
3	5月13日	ベース基礎・知識
4	6月10日	ドラム基礎・知識
5	6月17日	歌ってみた、弾いてみたをアップするまでに必要なこととその手順
6	6月24日	ボカロ曲をアップするまでに必要なこととその手順
7	7月8日	MIX基礎①
8	7月15日	MIX基礎②
9	7月22日	ライブで同期を使う方法
10	7月29日	自身の売り込み方法(SNS、オーディション、コンテスト等)
11	8月19日	テスト対策
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	22時間中　8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ドラム基礎			担当講師	小島　快之
講師実務経験	アーティスト				
対象学年	2　学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	11　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
前期	作曲に必要なドラムの基礎知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	ドラムの基本構造
3	5月13日	曲調に合わせたリズムパターン
4	6月10日	曲調に合わせたフィルイン
5	6月17日	生ドラム風ベロシティ設定
6	6月24日	生ドラム風タイミング設定
7	7月8日	電子ドラム基礎実習1
8	7月15日	電子ドラム基礎実習2
9	7月22日	オーディオ REC
10	7月29日	MIDI REC
11	8月19日	試験対策
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	11時間中　4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	作・編曲Ⅲ	担当講師	谷津祐子
講師実務経験	大学非常勤講師		

対象学年	2	学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース ベースコース/ドラムコース 作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義

期　間	前期	総授業回数	11	回	1回あたりの授業時間	135	分

期	修　得　目　標
前期	1年次で修得した基礎知識を発展させ、楽曲分析や編曲を実践できる力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月15日	授業ガイダンス
2	4月22日	ボイシングとアレンジ1
3	5月13日	ボイシングとアレンジ2
4	6月10日	ボイシングとアレンジ3
5	6月17日	さまざまなパターンのアレンジ1
6	6月24日	さまざまなパターンのアレンジ2
7	7月8日	さまざまなパターンのアレンジ3
8	7月15日	さまざまなパターンのアレンジ4
9	7月22日	さまざまなパターンのアレンジ5
10	7月29日	さまざまなパターンのアレンジ6
11	8月19日	まとめと復習
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業内で適宜プリントを配布します
注意事項	33時間中　12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ストリングス・ブラスアレンジⅠ	担当講師	谷津祐子
講師実務経験	大学非常勤講師		

対象学年	2	学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	11	回	1回あたりの授業時間	135 分

期	修　得　目　標
前期	楽器の特性を知り、ストリングス・ブラスアレンジに必要な基本知識を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	ストリングス楽器について
2	4月23日	ストリングス楽器の入力
3	4月30日	ブラス楽器について
4	5月14日	ブラス楽器の入力
5	6月11日	クローズボイシング1
6	6月18日	クローズボイシング2
7	6月25日	オープンボイシング1
8	7月9日	オープンボイシング2
9	7月23日	総合的なボイシング1
10	7月30日	総合的なボイシング2
11	8月20日	まとめと復習
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	授業内で適宜プリントを配布します
注意事項	33時間中　12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ギター基礎			担当講師	安田 貴広
講師実務経験	作曲家、アレンジャー、ヴォーカリスト、ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2　学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	11　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	作曲・編曲に必要なギターアレンジの基本・知識を理解しを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月16日	授業ガイダンス
2	4月23日	ギターの種類
3	4月30日	アコースティックギターの基本スタイル
4	5月14日	チューニング
5	6月11日	ギターの記譜の知識
6	6月18日	主な奏法とアーティキュレーション
7	6月25日	ギターアンプの特徴、
8	7月9日	サウンドメイク
9	7月23日	エフェクターの知識
10	7月30日	アンプシミュレーターの知識
11	8月20日	テスト対策
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	11時間中　4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	SR技術概論Ⅲ			担当講師	森本信
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション＆アーティストマネージメントほか				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/総合コース	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	90 分

期	修 得 目 標
前期	スタジオ録音・音楽業界のシステムを習得するを修得する。

回数	日程	【授 業 計 画】
1	4月16日	講義内容ガイダンス
2	4月23日	音楽業界のシステム／演習問題小テスト
3	4月30日	音楽業界の歴史とビジネス／演習問題小テスト
4	5月14日	音響学音響物理基礎の復習とアドバンス／演習問題小テスト
5	6月11日	電気音響の復習とアドバンス／演習問題小テスト
6	6月18日	電気音響機器の復習とアドバンス／演習問題小テスト
7	6月25日	録音手法の復習とアドバンス／演習問題小テスト
8	7月9日	ミキシング技法／演習問題小テスト
9	7月23日	音楽著作権／演習問題小テスト
10	7月30日	JAPRS検定試験解対策
11	8月20日	JAPRS検定試験解説
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)
テキスト	JAPRSサウンドレコーディング技術概論、サウンドレコーディング技術認定試験問題集ほか
注意事項	22時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ProTools実習Ⅲ			担当講師	金沢　琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2　学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	11　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	ProToolsの基本的な操作、概念をマスターしエンジニアとして必要なスキルを修得する

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	編集モード：グリッド・スプリットの機能の使用用途
2	4月24日	編集モード：編集ツールの拡張機能の使用
3	5月8日	トラックグループ・VCAトラックの機能
4	5月15日	オートメーション機能：タッチ、ラッチを使い作品に的確に反映させる
5	6月12日	プラグインの複数機能：プラグインを使用しての調整
6	6月19日	クリップゲインの適切な使い方
7	6月26日	バウンス、コミット、フリーズ機能の使用
8	7月10日	プレイリスト機能の使用
9	7月17日	ワークスペースブラウザの管理・ライブラリーの使用
10	7月24日	サイドチェーン・キー信号の使用
11	8月21日	ミックス素材を使い作品を完成させる
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	33時間中　12時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント実践(新入生歓迎ライブ前)			担当講師	曽山良一/田森正行/中田有紀/木村佳子/永盛岳生/中村未央/安田貴広/作山厚	
講師実務経験	プロミュージシャン					
対象学年	2　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/DTMコース/総合コース		授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	8　回	1回あたりの授業時間		270(180)　分
修　得　目　標	イベント実施に向けて連続的にイベント準備を進める事で、より実践的に知識や技術を修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】
1	5月19日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1と楽曲制作1
2	5月20日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2と楽曲制作2
3	5月21日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3と楽曲制作3
4	5月22日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4と楽曲制作4
5	5月23日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5と楽曲制作5 サウンド・ステージ＆ミュージシャン合同リハーサル日
6	5月26日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6と楽曲制作6
7	5月27日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7と楽曲制作7
8	5月28日	新歓ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン8と楽曲制作8

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	46時間中　16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント実践(定期公演前)	担当講師	曽山良一/田森　正行/中田有紀/木村佳子/永盛岳生/中村未央/安田貴広/作山厚
講師実務経験	プロミュージシャン		

対象学年	2　学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/DTMコース/総合	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	10　回	1回あたりの授業時間	270(180)　分
修　得　目　標	各コース間での連携、コミュニケーションを応用し、より実践的な技術、知識を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	9月1日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン1と楽曲制作1
2	9月2日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン2と楽曲制作2
3	9月3日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン3と楽曲制作3
4	9月4日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン4と楽曲制作4
5	9月5日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン5と楽曲制作5
6	9月8日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン6と楽曲制作6
7	9月9日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン7と楽曲制作7
8	9月10日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン8と楽曲制作8
9	9月11日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン9と楽曲制作9
10	9月12日	定期公演ライブに向けたバンドアンサンブルレッスン10と楽曲制作10

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	56時間中19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）